

自動車用簡易型防犯警報装置

XW310

12V 車専用

取扱説明書／保証書



この度は自動車用簡易型防犯警報装置 XW310 をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本製品は車内に装着し、衝撃やドアの開放を検知すると威嚇LED およびサイレン音による警告・警報を発し、車上ねらいや車両盗難等を抑制する簡易型防犯警報装置です。

本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえで使用ください。また読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

⚠ 注意

本製品は車体への衝撃やドアの開放を検知し警報を行う装置です。車上ねらいや車両盗難等への防犯効果は多大ですが、完全に防止できるものではありません。また本製品の作動の有無にかかわらず車両盗難、車上ねらい、車両へのイタズラ等が発生しなくても、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
👉 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。

目 次

ご使用上の注意	2	応用操作	22
梱包内容	4	設定方法	22
メインユニット	4	衝撃センサーの感度を変更する	23
リモコン	4	空圧センサーの感度を変更する	23
付属品	6	警戒パターンを設定を変更する	24
オプションについて	6	サイレン音の ON/OFF 設定	24
ご使用の前に	7	セキュリティオートスタート機能	25
リモコンの電池を交換する	7	セキュリティオートスタートの	
通信範囲	8	時間を変更する	25
メインユニットに専用バッテリーを取付ける	9	威嚇 LED の点滅パターンを変更する	26
メインユニットを充電する	10	充電中の LED 点灯表示を変更する	26
取付け	12	誤動作キャンセル機能	27
取付け概要図 (参考例)	12	警報履歴を確認する	28
メインユニットを取付ける	13	付録	29
基本操作	15	セキュリティステッカーの	
リモコンの通信エリア	15	貼付け場所について	29
警戒モードを設定する	16	リモコンの ID コードを登録する	30
警戒モードを解除する	17	設定を初期状態に戻す (オールリセット)	31
警報動作を停止する	17	輸入車モード	32
警報動作について	18	こんなときは?	34
緊急時のサイレン音停止方法	19	故障かな? と思ったら	35
専用バッテリーの充電がなくなってくると	20	お買い上げ時の設定一覧	36
リモコンの電池がなくなってくると	20	製品仕様	36
リモコンの電源を切る	21	アフターサービスについて	37
リモコンの電源を入れる	21	保証規定	38
		保証書	裏面

COMTEC

P-Ver.1 010101

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」と「注意」の2つに区分して、説明しています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

事故・火災等の危険性があるため、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 本製品を分解、改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 運転中は、本製品を絶対に操作しないでください。わき見運転は、事故の原因となります。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならず、車両の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- 本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両故障の原因となります。
- 本製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないでください。電波により医療機器に影響を与える恐れがあります。
- 本製品を不用意に人や動物の近くで作動させないでください。聴覚障害になる恐れがあります。

⚠ 注意

機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用に十分注意してください。

- メインユニット本体・リモコン本体に、お買い上げの日から1年間の保証がついています。その他の付属品(⇒P6)は保証の対象外となります。あらかじめご了承ください。
- 保証書には、必ず「販売店名」「お買い上げ日」が記入されているか、記載の内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 他のセキュリティシステムとの併用は行わないでください。誤警報の原因となります。
- 本製品はオープンカー等、密閉性の低い車両では使用できません。
- メインユニットに専用バッテリーを入れる時、ネジにあったプラスドライバーが必要になります。
- 指定の電池および充電池以外は使用しないでください。
- 本製品は12V車のみ使用可能です。24V車には使用できませんのでご注意ください。
- 本製品を充電中に警戒モードに設定することはできません。

⚠ 注意

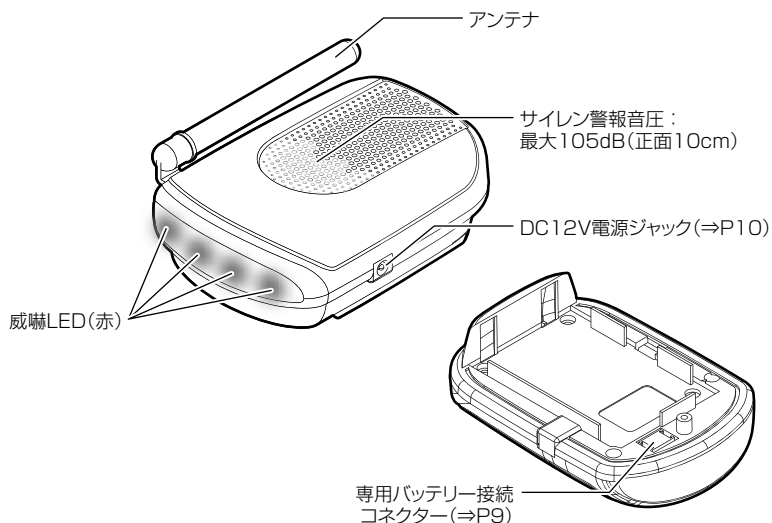
- キーを OFF にした時車両シガーソケットの電源が OV にならない車は、車両バッテリーを保護するため、エンジンを始動していない時は必ずシガープラグコードを抜くか、弊社オプションの SS-063 電源配線ユニットの使用、または設定を「輸入車モード」(⇒ P32) に切替えて使用してください。
- 本製品は下記のような状況では、音や振動を検知して警報を発する事があります。
 - ・強い雨やヒョウなどが降っていたり、強い風が吹いている
 - ・地下駐車場等、空調ファンの振動や音が発生している場所
 - ・改造マフラーを装着している車やバイクが付近を走行している場所
 - ・その他の振動・騒音が発生している場所
- メインユニットやリモコンを直射日光が当たる場所に設置・放置しないでください。
- 本製品の取付けは、確実に固定してください。固定が不十分だと誤作動の原因となります。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行っておりません。
- 本製品を修理・点検期間中又は故障などによる作動不良時における車両盗難、車上狙い、車両へのイタズラ等が発生しても、弊社では一切の責任は負いかねます。
- 本製品は防水加工されていません。雨、水等のかかる場所や濡れた手でのご操作は避けてください。また製品内部に水分が侵入した場合、故障の原因となり修理不可となります。
※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケットなどに入れた状態で雨や汗による蒸れ等によって内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。
- 工場出荷時、メインユニットのバッテリーはテスト用の充電しかされておられません。商品の状態（自然放電等）によっては電池容量不足で作動しない場合がありますので、初めて使用する時は必ずメインユニットのバッテリーを充電してください。
- 部品の交換修理、オプション品の購入に関しましては、販売店にお問い合わせください。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

⚠ 電波法について

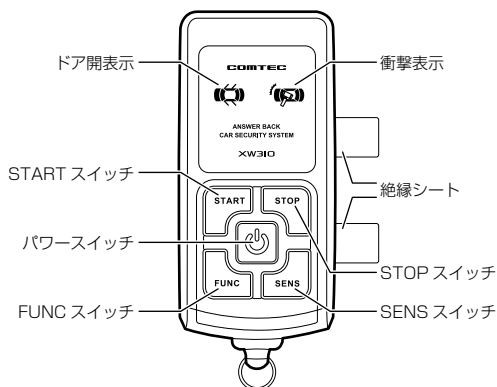
- メインユニット裏バッテリーケース内の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなるので、必ずラベルが貼られた状態で使用して下さい。
- 分解したり改造することは電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。

梱包内容

メインユニット



リモコン



リモコン操作一覧

作動内容		操作方法	詳細
警戒モードの設定(誤警報キャンセル機能なし)		START スイッチを 1 秒間押す	P16
警戒モードの設定(誤警報キャンセル機能あり)		SENS スイッチを 1 秒間押す	P27
警戒モードの解除		STOP スイッチを 1 秒間押す	P17
警報を止める		警戒モードの設定操作または警戒モードの解除操作をする	P17
リモコンの通信エリアを確認する		FUNC スイッチ +SENS スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P15
警報履歴を確認する		STOP スイッチを 1 秒間押す	P28
警報履歴を消去する		警戒モードの設定を行う	P28
リモコンの電源を切る		パワースイッチを 10 秒間長押しする	P21
リモコンの電源を入れる			
設定 操作	衝撃センサーの感度を変更する	パワースイッチ +SENS スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P23
	空圧センサーの感度を変更する	SENS スイッチ +STOP スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P23
	警戒パターンの設定を変更する	FUNC スイッチを 5 秒間長押しする	P24
	セキュリティオートスタート時間を変更する	パワースイッチ +STOP スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P25
	威嚇 LED の点滅パターンを変更する	START スイッチ +FUNC スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P26
	メインユニット充電中の LED 表示を変更する	STOP スイッチ +FUNC スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P26
	通常モード / 輸入車モードを選択する	パワースイッチ +START スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P32
	変更した設定内容を登録する	パワースイッチを 5 秒間長押しする	—
ID 登録モード（下記参照）中の操作			
リモコンを再登録する		START スイッチ +STOP スイッチを同時に 1 秒間押す	P30
リモコンを追加登録する（2 個目）		START スイッチ +SENS スイッチを同時に 1 秒間押す	P31
設定を初期状態に戻す（オールリセット）		パワースイッチ +FUNC スイッチを同時に 1 秒間押す	P31

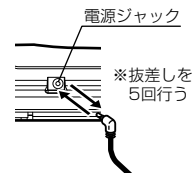
⚠ 注意

設定操作を行った際、メインユニットが無くてもリモコンのみ設定モードに入ります。リモコンが設定モードに入っている (リモコンの LED が点灯している) 場合、警戒モードの設定 / 解除操作等は行えません。リモコンの LED が点灯している時は、パワースイッチを 5 秒長押しする、または 30 秒待って設定モードを終了してから操作を行ってください。

ID 登録モードへの入り方

- 1) 車両にシガープラグコードを接続しキーを ON の状態で、電源ジャックからプラグの抜き差しを **15 秒以内に 5 回繰り返す**事で ID 登録モードに入ります。

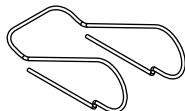
- ・メインユニットサイレンから「ピロリロピロリー♪」と音が鳴ります。
- ・威嚇 LED が全点滅します。



梱包内容

付属品

サンバイザーステー (1 個)



※出荷時メインユニット
電池カバーにセット
されています。

メインユニット用
専用バッテリー (1 個)



メインユニット電池カバー (1 個)



メインユニット電池カバー固定用ネジ
(1 個 /M2 × 8mm)



シガープラグコード (1 個)
(約 4m/1A ヒューズ内蔵)

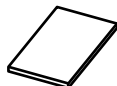


リモコン用ボタン電池 (2 個)
(CR2032)

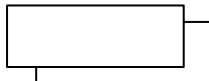


※出荷時リモコンにセットされています。

両面テープ (1 枚)
(メインユニット固定用)



セキュリティステッカー (2 枚)



オプションについて

本製品は以下のオプションを取付け可能です。

品 番	品 名	使用目的
SS-063	電源配線ユニット	本製品の電源をシガープラグ接続できない場合に直接車両の配線から電源を接続できます。
SS-065	AC100V 専用充電器	家庭用 (AC100V) コンセントから本製品を充電することができます。
—	XW310 専用 追加リモコン	ID コードの登録を行う事でリモコンを追加することができます。
—	XS210 用リモコン	ID コードの登録を行う事で XS210 のリモコンを本製品にて使用することができます。登録方法、操作方法はリモコン付属の取扱説明書を参照ください。 ※リモコンへのアラーム通知は行いません。

※ 本製品は付属リモコン以外に 1 個リモコンを追加登録することができます。(合計 2 個)

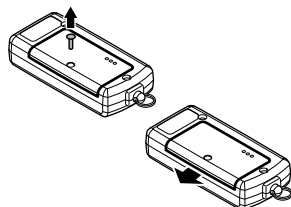
ご使用の前に

リモコンの電池を交換する

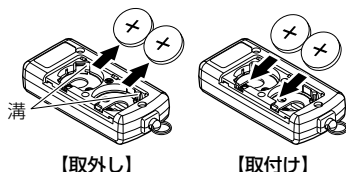
製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。必ず絶縁シートを抜いてから使用してください。

電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着してください。

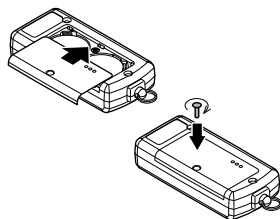
- 1) 電池カバーのネジを外して、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取外します。



- 2) 右図の溝に細い棒等を入れ古い電池を取外し、新しい電池(CR2032 × 2 個)を+を上側にしてセットします。



- 3) 電池カバーを矢印の方向からスライドさせ取付け、ネジ (M2 × 5mm) を締めます。



⚠ 注意

- ・ 指定電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
- ・ 新品の電池を使用した場合、約 5 ヶ月間の使用が可能です。
(リモコンへの異常警報通知や使用条件により電池寿命は異なります)
- ・ リモコンを長時間使用しないときは、電池を取外して保管してください。
- ・ 工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約 5 ヶ月間を下回る場合があります。
- ・ 電池は消耗品です。約 5 ヶ月間程度で交換することをお勧めします。

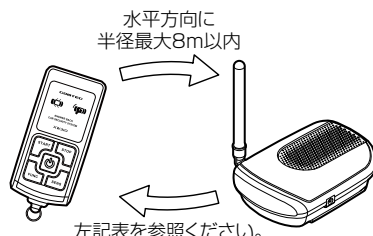
ご使用の前に

通信範囲

- ・ リモコンからメインユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しているため通信範囲は半径最大 8m 以内（サンバイザー取付け時）です。
 - ・ メインユニットからリモコンへの無線通信には、特定小電力無線を使用しています。通信範囲は条件によって異なります。下記表を参考にするか、通信エリアの確認機能（⇒ P15）を使用し、通信圏内か確認の上で使用ください。
- ※ 通信範囲は弊社測定による最大値です。取付場所や周囲環境によって通信範囲は変化します

通信距離の目安（弊社測定値）	
市街地	150m ～ 300m
郊外	300m ～ 500m

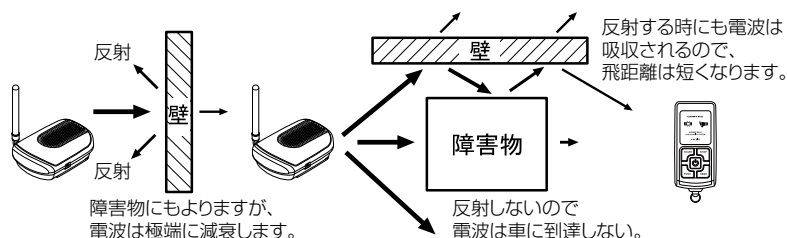
- ※ 通信距離の目安は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。地下や屋内等では電波が届かないため、上記目安より短くなります。



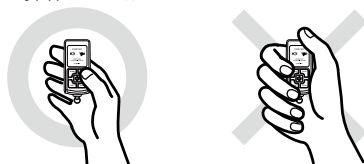
アドバイス

電波特性について

- ・ 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に到達距離が短くなります。（電波が障害物によって反射するため）また、メインユニットの取付け場所やビラー等の障害物の有無によっても短くなる事があります。
- ・ 電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があつた場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



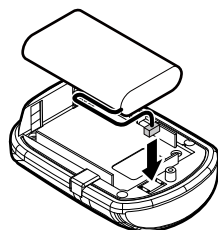
- ・ リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



メインユニットに専用バッテリーを取付ける

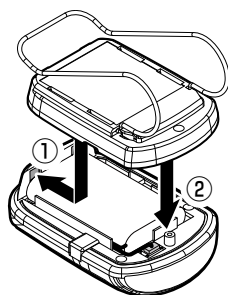
本製品を使用する前に、専用バッテリーをメインユニットに取付けてください。

- 1) メインユニットにバッテリーコネクターを接続し、ケース内にバッテリーコードを挟まないようにバッテリーを入れます。

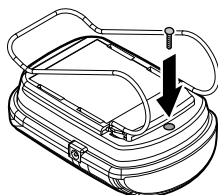


- 2) 先にバッテリーカバーのツメをメインユニットに掛け(①)、その後バッテリーカバーを閉じます(②)

※バッテリーカバーを閉じる際、バッテリーコードをかみ込まないように注意してください。



- 3) バッテリーカバーを付属のネジ (M2 × 8mm) で締めてください。



⚠ 注意

- ・コネクターには極性がありますのでコネクターの凹凸に合わせてください。
- ・専用バッテリーは消耗品です。2 時間以上充電をしてもすぐに作動しなくなる場合や充電ができなくなった場合は新しい専用バッテリーと交換してください。
- ・専用バッテリーの購入に関しましては、弊社製品取扱店にてご注文ください。
- ・本製品は専用バッテリーを使用しています。安全のため専用バッテリー以外は使用しないでください。

ご使用の前に

ご使用前に必ず十分な充電を行ってください。

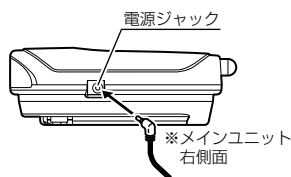
- 本製品は、お買い上げ時には検査用予備充電しかされていませんので、使用前には必ず充電を行ってください。
- 初めて使用する時や専用バッテリーが消耗した時は、必ず付属のシガープラグコードを使用し、エンジンを始動した状態で充電を行ってください。
- 充電は電池の状態によって、急速充電・標準充電を行い、約 2 時間で満充電となります。また 1 時間程度の充電でも使用できますが、動作時間は短くなります。
※急速充電中は充電電流が大きくなり、ケースが熱くなる事がありますが故障ではありません。
- 車両のシガープラグコード接続で充電が困難な場合（長時間エンジン始動ができない場合など）、弊社オプションの SS-065 AC100V 専用充電器で家庭用コンセントから充電することができます。

⚠ 注意

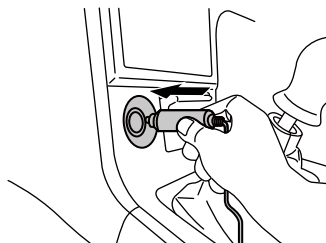
充電中はすべての操作が行えません。

メインユニットを充電する

- 1) メインユニットの電源ジャックに付属のシガープラグコードを差込みます。



- 2) 車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを差込みます。

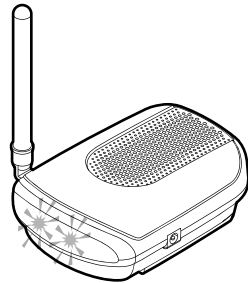


- 3) 車両のエンジンを始動した状態で充電を行ってください。



- 4) メインユニットの充電が開始されると、
威嚇 LED が全点灯し、満充電に近づく
と中央 2 つの威嚇 LED の点灯に切替わ
ります。

※ LED が点灯しない場合、【故障かな？と思っ
たら】(⇒ P35) の『メインユニットの充電が
できない』をご確認ください。

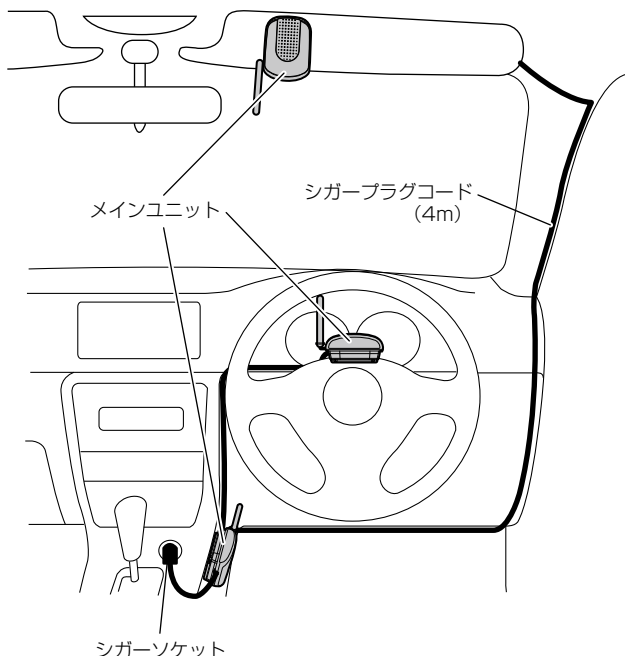


アドバイス

- ・警戒状態を長期間保つために、走行中に充電（常時シガープラグコードを接続）する事をおすすめします。
 - ・充電中の威嚇 LED は設定により、常時点灯・30 秒間点灯に切替えることができます。
【初期設定：充電開始から 30 秒間点灯】(⇒ P26)
 - ・専用バッテリーが満充電となっても威嚇 LED は消灯しません。
 - ・本製品を満充電した時の連続警戒時間（※）は約 7 日間です。
- ※ 無警報での監視状態の継続時間。警報動作によって連続警戒時間は短くなります。

取付け

取付け概要図（参考例）



👉 アドバイス

シガーソケットの無い車や、エンジンを停止してもシガーソケット電圧が0Vにならない車は、別売オプション SS-063「電源配線ユニット」を使用して車両の配線に直接接続するか、輸入車モード（⇒ P32）を使用してください。

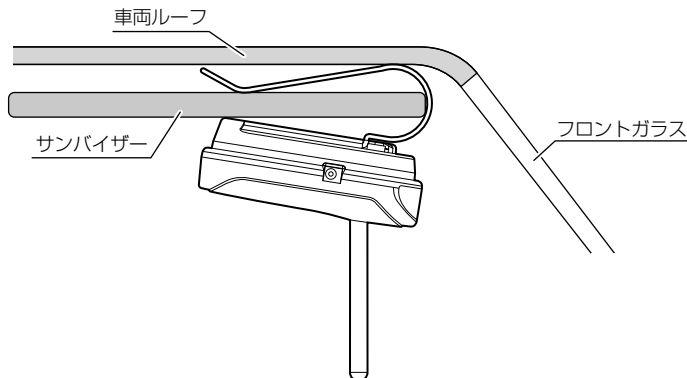
⚠ 注意

- ・メインユニットのアンテナは必ず立てた状態で使用してください。寝かせた状態で使用すると、飛距離が著しく短くなります。
- ・本製品の取付けは必ず、他の電子機器から 30cm 以上離して設置してください。リモコンの操作できる範囲が短くなったり、操作できなくなったりする恐れがあります。

メインユニットを取付ける

サンバイザーに取付ける場合

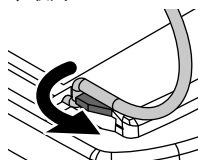
- 1) サンバイザーにメインユニットを取付け固定し、アンテナが垂直になるように角度を調整します。



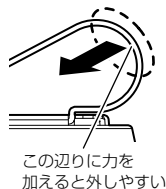
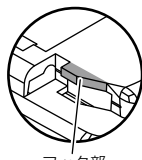
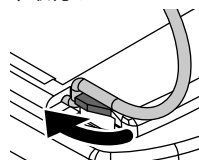
⚠ 注意

- ・サンバイザーステーの取外し・取付けを行う場合は、無理に引いたり、押込んだりしないでください。メインユニットのサンバイザーステー固定用フックが破損する恐れがあります。
- ・サンバイザーステーを外側に力を加え、たわませて、フック部を回避するように取外し・取付けを行ってください。

◇取外し



◇取付け

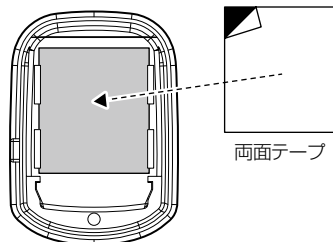


※サンバイザーステーはフック部を回避するように取外し、取付けを行ってください。

取付け

センターコンソール側面等に取り付ける場合

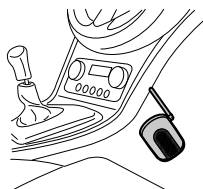
- 1) メインユニットからサンバイザーステーを取外し、両面テープを貼りつけます。



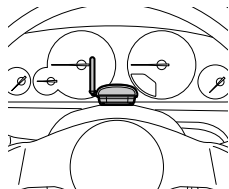
- 2) **エアコン吹出し口以外**の任意の場所にメインユニットを固定し、アンテナができるだけ垂直になるように角度を調整します。

※運転の妨げにならないようにメインユニットの固定およびアンテナの角度調整を行ってください。

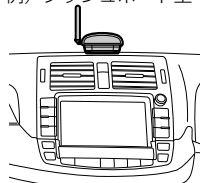
例) センターコンソール側面



例) ハンドルコラムカバー上面



例) ダッシュボード上



👉 アドバイス

真夏の炎天下等、本製品に長時間直射日光が当たる場所に駐車する際は、サンシェード等で直射日光が製品に当たらないようにすることをおすすめします。

⚠ 注意

- ・ 真夏の炎天下等、長時間直射日光や高温にさらされる場所へ取付けを行うと、リモコンの送信距離やセンサーの感度が落ちる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 結露等によりメインユニット故障の恐れがありますので、エアコン吹出し口やその付近に取付けない様に注意してください。
- ・ 取付けする場所や素材によって両面テープで固定できない場合があります。そのような場合はサンバイザーへ取付けを行ってください。
- ・ 運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。

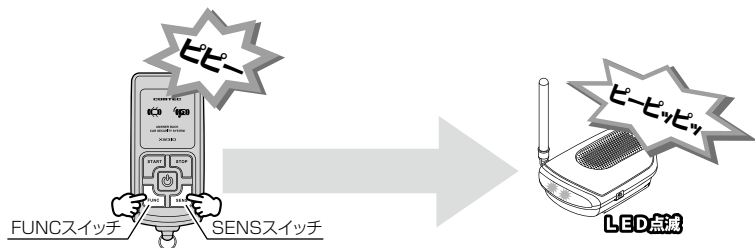
基本操作

リモコンの通信エリア

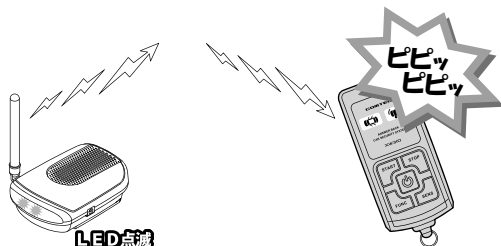
リモコンで通報（アンサーバックのみ）を受信できるエリアを確認することができます。ご自宅と駐車場が離れている場合など、リモコンで通信エリアの確認信号が受信できることを確認のうえご使用ください。

- 1) 警戒解除中に【FUNC スイッチ】と【SENS スイッチ】を同時に 5 秒間押す

- ・リモコンから「ピーー」と音がします。
- ・メインユニットサイレンから「ピーピーピッ」と音がします。
- ・メインユニットの左側 2 灯と右側 2 灯の威嚇 LED が交互に点滅します。
- ・メインユニットから通信エリアの確認信号が約 10 分間定期的に送信されます。



- 2) 通信エリア内にいるとリモコンからアラーム音が約 5 秒ごとに「ピピッ ピピッ」と鳴り、LED 表示部が点滅します。
- ・通信エリア圏外にいると確認信号を受信できないため、リモコンからアラーム音は鳴らず、LED 表示部が早い点滅に変わります。



- 3) 約 10 分間定期的に確認信号を送信後終了します。（警戒モードには移行しません）

通信エリアの確認を終了する

通信エリアの確認を終了するには、キーを ACC または ON まで回す（シガーブラグコード接続時のみ）か、リモコンで設定、解除操作にてメインユニットを作動させることにより終了できます。

基本操作

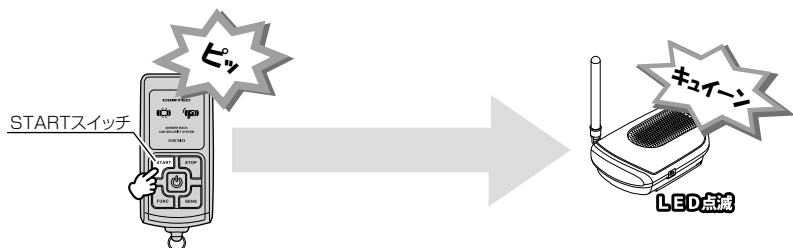
警戒モードを設定する

すべての窓を閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかりと閉めてください。窓が開いていると車内の気圧の変化や衝撃を正しく検知できません。

※ メインユニット充電中は操作できません。

1) 【START スイッチ】を 1 秒間押します。

- ・「ピッ」とスイッチ操作音がします。
- ・メインユニットサイレンから「キューーン」と音が鳴ります。
- ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
- ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅 (⇒ P26) し、警戒モードとなります。



📞 アドバイス

- ・キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が約 10 秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10 秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・【SENS スイッチ】を 1 秒間押す事で誤動作キャンセル機能ありの警戒モードに移行することができます。(⇒ P27)
- ・専用バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定／解除時の動作が変化します。(⇒ P20)

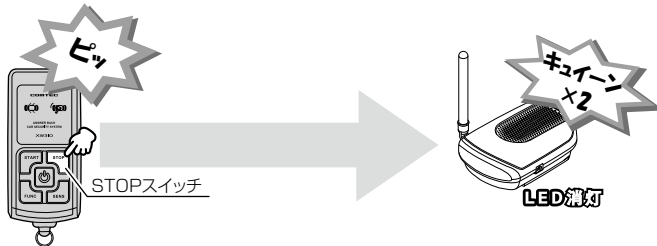
⚠ 注意

ターボタイマー装着車は、ターボタイマー作動中にセキュリティの警戒モードに設定することはできません。セキュリティオートスタート機能 (⇒ P25) を使用するか、ターボタイマー終了後、リモコンの操作にて警戒モードの設定を行ってください。

※ シガープラグコード接続時のみ

警戒モードを解除する

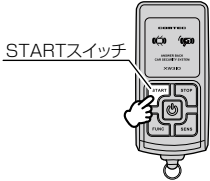
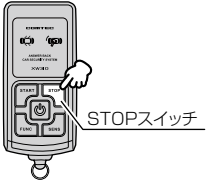
- 1) 【STOP スイッチ】を 1 秒間押します。
 - ・「ピッ」とスイッチ操作音がします。
 - ・メインユニットサイレンから「キューーン、キューーン♪」と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が消灯します。



警報動作を停止する

警報を停止する場合、警戒モードの設定操作または警戒モードの解除操作を行うか、キーを ACC または ON (※) にしてください。

※ シガープラグコード接続時のみ。

操作内容	状態
	【START スイッチ】を押す。 警報動作が停止し、警戒モードに移行します。
	【STOP スイッチ】を押す。 警報動作が停止し、警戒モードが解除されます。
 ACCまたはON	キーを ACC または ON にする。 ※ シガープラグコード接続時のみ。

基本操作

警報動作について

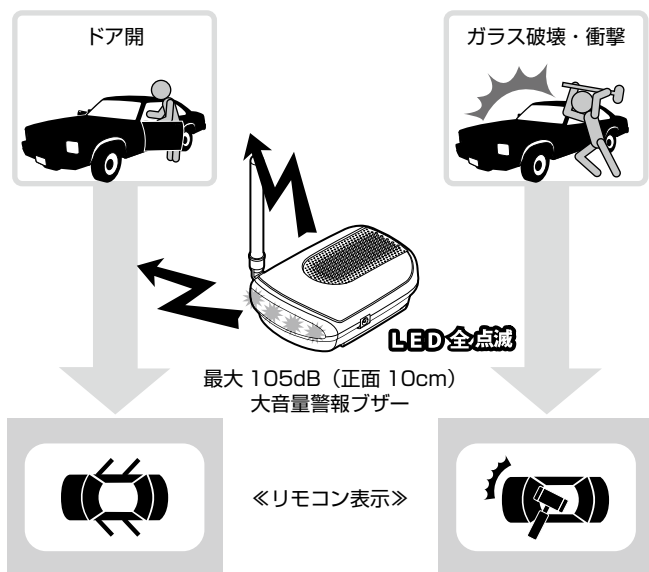
メインユニットの警報動作

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への強い衝撃やドア開を検知したときには、警報動作〔威嚇LEDが短い間隔で全点滅し、サイレンは最大105dB（正面10cm）で鳴動〕を発生します。警報動作は約30秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。

📞 アドバイス

衝撃の警報中にドアを開けられると、ドア開の警報に切替わります。ただしドア開の警報中に衝撃を受けても衝撃の警報には切替わりません。

※リモコンへのアラーム通知はメインユニットの警報に連動します。



リモコンへの異常通知

リモコンは異常通知を受信すると各異常別のリモコン表示の点滅およびアラーム音で約30秒間お知らせします。

約30秒後にリモコンの音は停止し、リモコン表示は消灯しますが、警戒モードは継続していますので再度異常通知を受信するとリモコン表示と音でお知らせします。

※ただし、リモコンが通信エリア圏外の場合は、アラーム通知はされません。

警戒モード設定中に衝撃を検知した時やドアが開いた時に、下記表の動作や表示を行います。警告、警報後は警戒モードに戻り、再度異常を検知すると警告、警報を行います。

	振動センサー		空気圧センサー
	弱い衝撃（警告）	強い衝撃（警報）	ドア開（警報）
メインユニット サイレン	「ピロピロピロ」が 3 回～6 回鳴ります。 （※アドバイス参照）	「ピロピロピロ・・・」が 約 30 秒間鳴ります。	「キューーン・・・」が 約 30 秒間鳴ります。
メインユニット 威嚇 LED	早い全点滅を 約 2 秒間します	早い全点滅を約 30 秒間します。	
リモコン	「ピーピーピー」が 1 回 鳴り、衝撃表示が 3 回 点滅します。	「ピーピー・・・」が約 30 秒間鳴り、衝撃表示が約 30 秒間点滅します。	「ビビビビッ・・・」が約 30 秒間鳴り、ドア開表示 が約 30 秒間点滅します。

📞 アドバイス

弱い衝撃は連続して検知（警告後 15 秒以内に再検知）すると、警告音「ピロピロピロ」が 3 回、4 回、5 回とステップアップして警告を行います。5 回以降は全て 6 回「ピロピロピロ」を鳴らして警告を行います。また誤動作キャンセル機能（⇒ P27）を使用すると 5 回目以降の警告をキャンセルします。

緊急時のサイレン音停止方法※シガープラグコード接続時のみ

リモコンの紛失や電池切れなどの各種トラブルにより手動でサイレンを停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

- 1) キーを ACC または ON にすることで解除できます。



📞 アドバイス

- ・キーを ACC または ON にして停止した場合は、警戒モードが解除されます。ただし、警戒/パターンの設定（⇒ P24）にてオートスタートを ON に設定している場合、キーを OFF にすると再度警戒モードに自動で設定されます。
- ・リモコンへのアラーム通知も止まります。

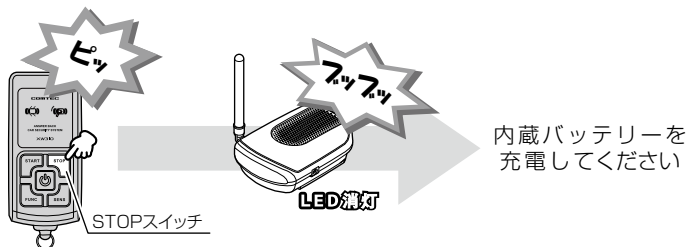
基本操作

専用バッテリーの充電がなくなってくると

メインユニットの専用バッテリーの充電がなくなってくると、下記のように動作が変化します。その際は必ずメインユニットのバッテリーの充電を行ってください。

- ・警戒モードの設定／解除操作の時にメインユニットのサイレン音が、『ブツ』／『ブツブツ』に切替わります。
- ・警戒モード設定時のキャンセルタイマー中の LED 点滅も通常より早くなり、お知らせします。
- ・設定登録時、メインユニットサイレンから「ブツブツ」と音がした場合は専用バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

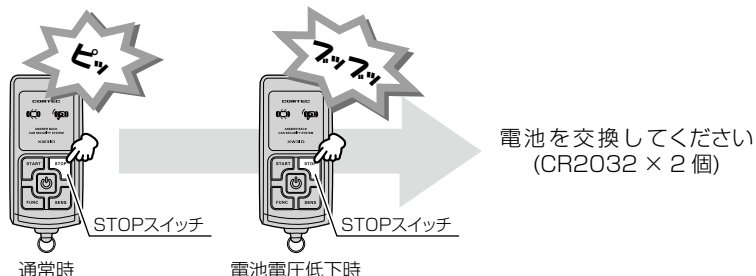
例) 警戒モード解除時



リモコンの電池がなくなってくると

リモコンの電池電圧がなくなってくると、スイッチ操作時の音が『ブツブツ』と変わります。スイッチ操作音が変わった場合は、すみやかに電池を交換してください。(⇒ P7)

例) 警戒モード解除時



リモコンの電源を切る

1) パワーボタンを 10 秒間長押しする

- ・スイッチを押し続けると、リモコンから「ビピー♪」と音が鳴ります。
- ・リモコン表示部が点滅から消灯へと変わります。
- ・リモコンの電源が OFF になります。



👉 アドバイス

スイッチ操作でリモコンの電源を OFF にしても、完全な電源 OFF にはなりません。長期間リモコンを使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

リモコンの電源を入れる

お買い上げ時やリモコンのボタン電池を交換後は、リモコンの電源は ON になっています。

1) パワーボタンを 10 秒間長押しする

- ・スイッチを押し続けると、リモコンから「ピッ♪」と音が鳴ります。
- ・リモコン表示部が点滅から約 2 秒間点灯へ変わります。
- ・リモコンの電源が ON になります。



👉 アドバイス

リモコンの電源が ON になっていないと、警戒モードの設定・解除の操作や、警報時にリモコンへの異常通知が受信できません。

応用操作

設定方法

本製品リモコン操作で各機能の設定を変更することができます。

※ 警戒モード設定中および充電中では変更できません。

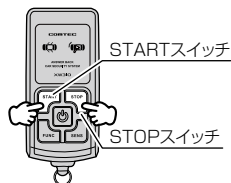
- 1) 警戒モード解除中、各機能に対応するリモコンのスイッチを **5 秒間長押し** すると、各機能の設定モードに入ります。

- ・スイッチを押し続けると、リモコンから「ピーーッ」と音が鳴り、LED が点滅⇒点灯へと変わります。
- ・メインユニットサイレンから「ピロリロッ」と音が鳴り、威嚇 LED が点灯します。

設定項目	操作するスイッチ	参照ページ
衝撃センサーの感度設定	パワースイッチ + SENS スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P23
空圧センサーの感度設定	SENS スイッチ + STOP スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P23
警戒パターンの設定	FUNC スイッチを 5 秒長押しする	P24
セキュリティオートスタート時間の設定	パワースイッチ + STOP スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P25
威嚇 LED の点滅/パターン設定	START スイッチ + FUNC スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P26
充電中の LED 表示の設定	STOP スイッチ + FUNC スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P26
通常モード / 輸入車モードの設定	パワースイッチ + START スイッチを同時に 5 秒間長押しする	P32,33

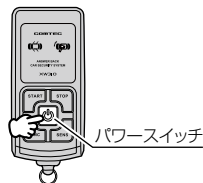
- 2) 【START スイッチ】または【STOP スイッチ】を押すと、リモコンから「ピッ」の音と、LED が点滅し、設定内容が変わります。

- ・ START スイッチ：順送り
- ・ STOP スイッチ：逆送り



- 3) 変更後【パワースイッチ】を **5 秒間長押し** することで設定を登録します

- ・ リモコンから「ピーーッ」と音が鳴り、LED が消灯します。
- ・ メインユニットサイレンから「ピロリリーッ」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。



👉 アドバイス

- ・ リモコンのスイッチ操作を行わないと約 30 秒後に設定モードが終了します。なお、この時変更した内容は登録されません。再度設定を行ってください。
- ・ 設定登録時、メインユニットサイレンから「ブッブッ」と音がした場合は専用バッテリーの充電が無くなっています。この時変更した内容は登録されないため、充電後、再度設定を行ってください。

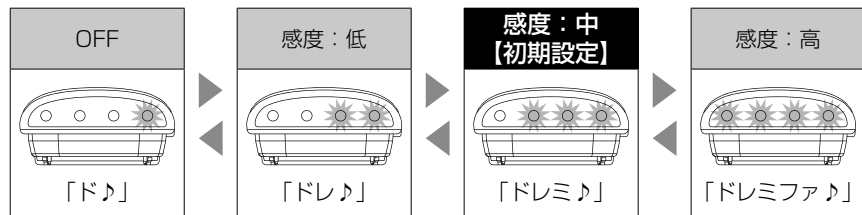
衝撃センサーの感度を変更する

【パワー】 + 【SENS】
5秒長押し ⇒ **【設定変更】** ⇒ **【START】**
または **【STOP】** ⇒ **【設定登録】** ⇒ **【パワー】 5秒長押し**

※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

リモコン操作により、衝撃センサーの感度を 4 段階に調節することができます。

設定内容



アドバイス

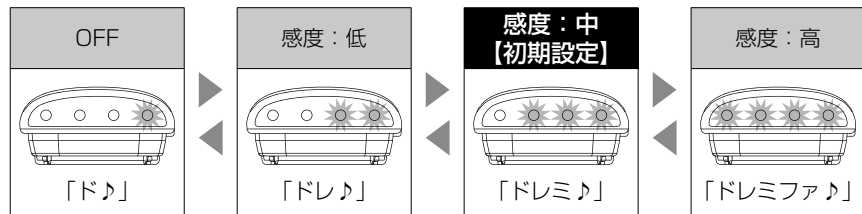
- ・強い衝撃と弱い衝撃の感度は連動して設定されます。(個別に設定することはできません)
- ・駐車場周辺の環境や車両に合わせて衝撃感度の設定を行ってください。

空圧センサーの感度を変更する

【SENS】 + 【STOP】
5秒長押し ⇒ **【設定変更】** ⇒ **【START】**
または **【STOP】** ⇒ **【設定登録】** ⇒ **【パワー】 5秒長押し**

※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

リモコン操作により、空圧センサーの感度を 4 段階に調節することができます。



応用操作

警戒パターンの設定を変更する

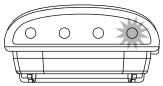
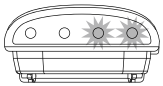
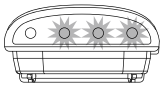
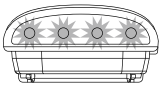
[FUNC] 5 秒長押し ⇒ [設定変更] ⇒ [START]
または [STOP] ⇒ [設定登録] ⇒ [パワー] 5 秒長押し

※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

本製品は警戒パターンの設定を変更することにより、セキュリティオートスタート機能の ON/OFF(⇒ P25) と、メインユニットサイレン音の ON/OFF(⇒ P24) を変更することができます。

※ 警戒モード設定・解除時や機能設定時の確認音を OFF することはできません。

設定内容

警戒パターン①	警戒パターン②	警戒パターン③ 【初期設定】	警戒パターン④
			
「ド」	「ドレ」	「ドレミ」	「ドレミファ」
オートスタート： ⇒ ON サイレン音： ⇒ ON	オートスタート： ⇒ ON サイレン音： ⇒ OFF	オートスタート： ⇒ OFF サイレン音： ⇒ ON	オートスタート： ⇒ OFF サイレン音： ⇒ OFF

サイレン音の ON/OFF 設定

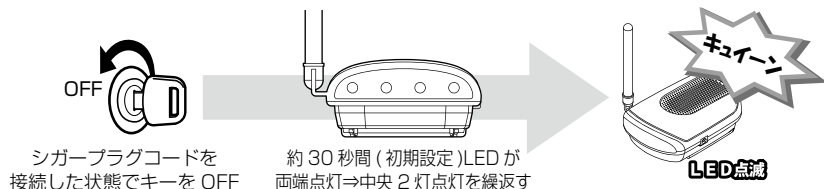
サイレン音を OFF に設定した場合、異常を検知した場合でもメインユニットからサイレン音は鳴らず、威嚇 LED による警報のみになります。

セキュリティオートスタート機能

本製品はリモコン操作による警戒モードの設定以外に、自動的に警戒モードの設定を行う、セキュリティオートスタート機能を搭載しています。

1) シガープラグコード接続時にキーを OFF にします。

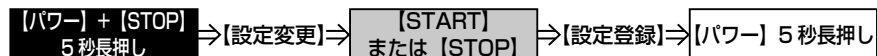
- ・ 威嚇 LED が約 30 秒間（初期設定）順次点滅します。
- ・ メインユニットサイレンから「キューーン♪」と音がします。
- ・ 威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。（約 10 秒間）
- ・ 威嚇 LED の点滅パターンが切替わり警戒モードとなります。



アドバイス

- ・ 威嚇 LED が約 30 秒間（初期設定）順次点滅している間に警戒モードの解除操作（【STOP スイッチ】を押す）を行う事で、オートスタート機能をキャンセルすることができます。
- ・ エンジンを停止してもシガーソケットの電圧が 0V にならない車は、別売オプション SS-063「電源配線ユニット」を使用することにより、キーを OFF にした時に警戒モードに自動で設定されます。また、付属のシガープラグコードを使用する場合は、シガープラグコードを抜いた時点で警戒モードに自動で設定されます。

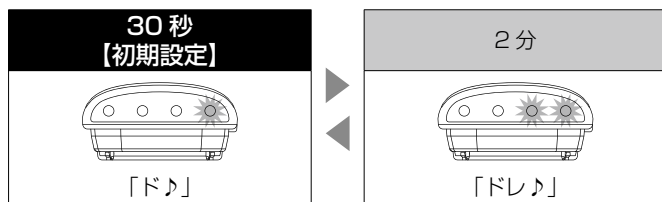
セキュリティオートスタートの時間を変更する



※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

セキュリティオートスタートが作動するまでの時間を 30 秒と 2 分から選択できます。

設定内容



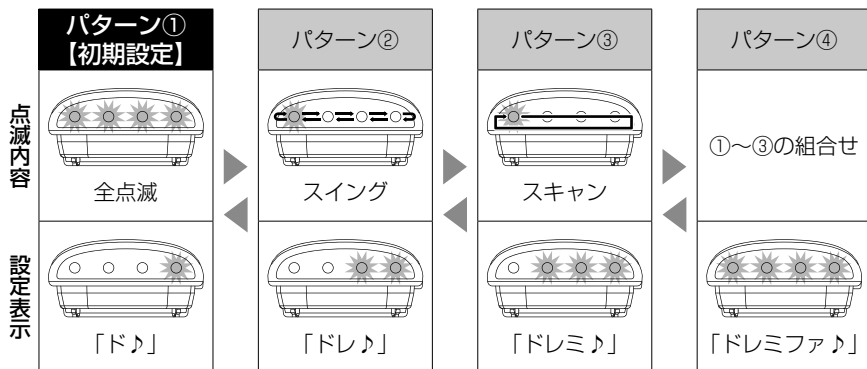
応用操作

威嚇 LED の点滅パターンを変更する

[START] + [FUNC] 5秒長押し ⇒ [設定変更] ⇒ [START] または [STOP] ⇒ [設定登録] ⇒ [パワー] 5秒長押し

※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

リモコン操作により、威嚇 LED の点滅パターンを 4 種類から選択することができます。

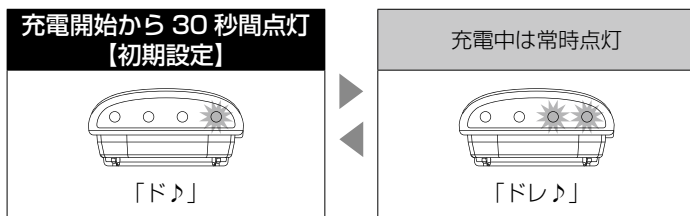


充電中の LED 点灯表示を変更する

[STOP] + [FUNC] 5秒長押し ⇒ [設定変更] ⇒ [START] または [STOP] ⇒ [設定登録] ⇒ [パワー] 5秒長押し

※ 詳しい設定操作は P22 を参照ください。

メインユニットは充電中、威嚇 LED が点灯します。その威嚇 LED 表示をリモコン操作により、『充電開始から 30 秒間点灯』 / 『充電中は常時点灯』から選択することができます。

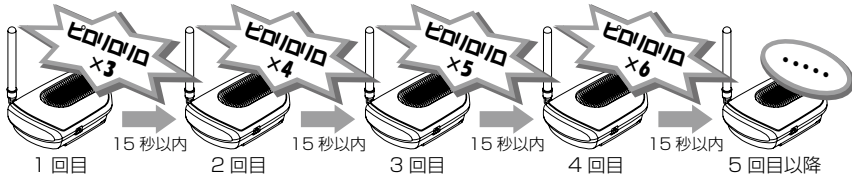


👉 アドバイス

専用バッテリーが満充電となっても威嚇 LED は消灯しません。

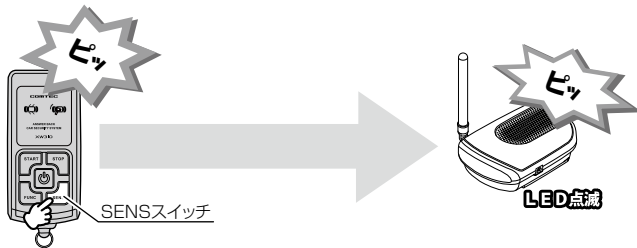
誤動作キャンセル機能

誤動作キャンセル機能を使用することで、15 秒以内に連続して弱い衝撃を検知すると、5 回目以降の警告およびリモコンへのアラーム通知をキャンセルすることができます。また 4 回目の警告までサイレン音をステップアップして警告します。



操作方法

- 1) 【SENS スイッチ】を 1 秒間押します。(通常の警戒モードの設定方法は【START スイッチ】を 1 秒間押す)
 - ・「ピッ」とスイッチ操作音がします。
 - ・メインユニットサイレンから「ピッ」と音が鳴ります。
 - ・威嚇 LED が全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約 10 秒間)
 - ・威嚇 LED が設定したパターンで点滅 (⇒ P26) し、警戒モードとなります。



※ 解除する時は通常の警戒モードの解除と同様の操作 (【STOP スイッチ】を 1 秒間押す) を行ってください。メインユニットサイレンから「ビッ」と音が鳴り、解除されます。

アドバイス

- ・キャンセルタイマー中は、威嚇 LED が約 10 秒間全点滅します。このとき、各種センサーは異常を検知しません。
- ・キャンセルタイマー中に再度リモコンで警戒モードの設定操作を行うと、10 秒間待たずに警戒モードに移行します。
- ・【START スイッチ】を 1 秒間押す事で通常の警戒モード (⇒ P16) に移行することができます。
- ・専用バッテリーの充電がなくなってくると、警戒モードの設定／解除時の動作が変化します。(⇒ P20)

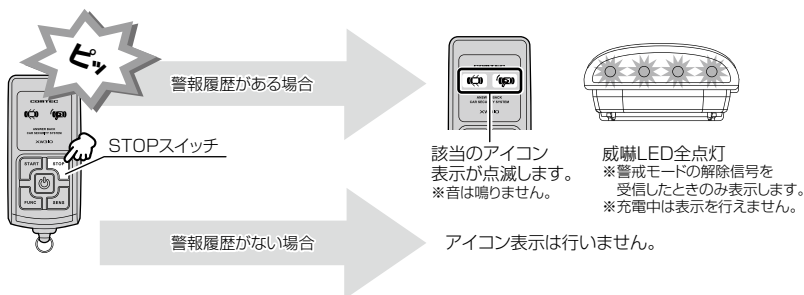
応用操作

警報履歴を確認する

本製品は警報（強い衝撃とドア開）の履歴をリモコンとメインユニットに記憶します。リモコン操作により、警報履歴を確認することができます。

- 1) 【STOP スイッチ】を 1 秒間押します。
- 2) リモコンに警報履歴がある場合は、該当のアイコン表示が点滅し、メインユニットのサイレン音と威嚇 LED が下記表のように点滅します。履歴がない場合は反応しません。

※メインユニットは警戒モード解除中に、リモコンからの警戒モードの解除信号を受信した場合のみ履歴を表示します。



メインユニット		
警報	強い衝撃	ドア開
威嚇LEDの点滅	全点滅×3	全点滅×2
サイレン音	ピッピッピッ	ピーピー

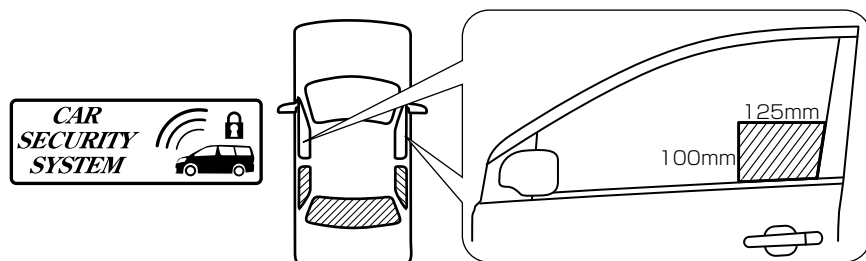
📞 アドバイス

- ・メインユニットに強い衝撃とドア開の警報の両方が履歴にある場合、強い衝撃、ドア開を順に履歴表示します。
- ・リモコン操作による警戒モードの設定やセキュリティオートスタート機能（メインユニットの履歴のみ）により警戒モードに設定されると、警報履歴はクリアされます。それ以外の操作では履歴は消えません。
- ・メインユニットは警報を行った時点で履歴として記憶し、リモコンはアラーム通知を行った時点で履歴として記憶します

付録

セキュリティステッカーの貼付け場所について

セキュリティステッカーは必ず車両外側のウィンドウガラスへ、下図の斜線で示す任意の位置に貼付けてください。



⚠ 注意

- ・フロントガラスには貼らないでください。
- ・貼付ける位置のウィンドウガラスのゴミ、ホコリ、油汚れ等を取除いてから貼付けを行ってください。
- ・貼付け位置は、リアワイパーを避け、向きに注意して貼付けを行ってください。

付録

リモコンの ID コードを登録する

- ・リモコンは最大 2 台（付属のリモコン含む）まで登録することができます。
- ・リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン（別売）を購入し、『ID コード』をメインユニットに登録することで、引き続きご使用いただけます。
- ・リモコンは、1 台目（付属）、2 台目（追加）で登録方法が異なります。
- ・リモコンを紛失した際は、紛失したリモコンで操作できないように、再登録および追加登録を共に行う事をおすすめします。

※ 警戒モード設定中および充電中は変更できません。

※ メインユニットの専用バッテリー電圧が低下すると「ブブッ」と音が鳴り、登録できません。その際は充電を行った後、再度登録を行ってください。

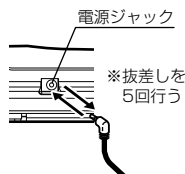
登録方法

《共通操作：ID 登録モードに入る》

- 1) 車両にシガープラグコードを接続しキーを ON の状態で、電源ジャックからプラグを抜き差しを **15 秒以内**に 5 回繰返し、ID 登録モードに入ります。

・メインユニットサイレンから「ピロリロピロリー」と音が鳴ります。

・威嚇 LED が全点滅します。

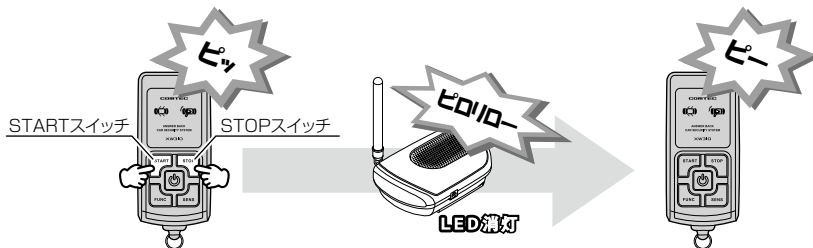


◇ 1 台目（付属）のリモコンの再登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【START スイッチ】と【STOP スイッチ】を同時に 1 秒間押します

・メインユニットサイレンから「ピロリロー」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。

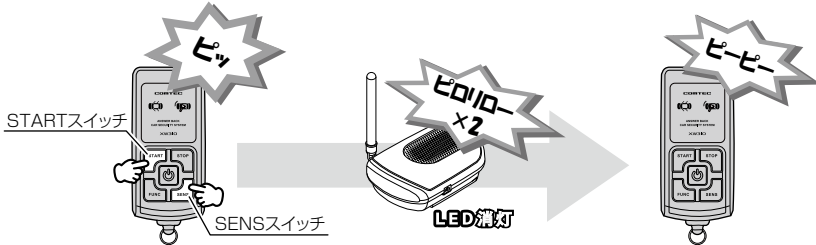
・リモコンから「ピー」と音が鳴り、登録完了です。



◇ 2 台目のリモコンの追加登録方法

威嚇 LED が全点滅してから 30 秒以内に、登録するリモコンで【START スイッチ】と【SENS スイッチ】を同時に 1 秒間押します

- ・メインユニットサイレンから「ピロリロー、ピロリロー♪」と音が鳴り、威嚇 LED が消灯します。
- ・リモコンから「ピーピー♪」と音が鳴り、登録完了です。

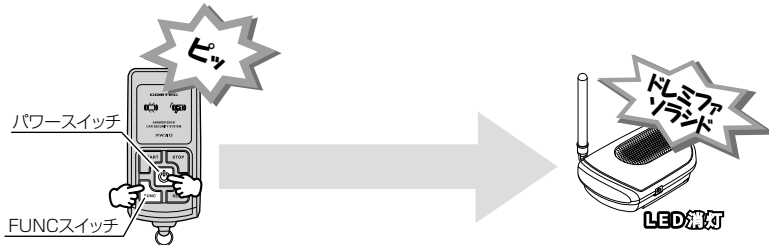


設定を初期状態に戻す（オールリセット）

全ての設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 1) ID 登録モード (⇒ P30) に入った状態で、リモコンで【パワースイッチ】と【FUNC スイッチ】を同時に 1 秒間押します

- ・メインユニットサイレンから「ドレミファソラシド♪」と鳴ればリセット完了です。



📞 アドバイス

メインユニットサイレンから「ブッブッ」と音がした場合は専用バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

付録

輸入車モード

エンジンを停止してもシガーソケットに 12V が通電している車両でも、本製品を簡単に使用できるように省電力で作動する機能です。

ただし車両のバッテリーを保護するため、通常モード時と下記仕様が異なります。

変更される機能	輸入車モード	通常モード
セキュリティオートスタート機能 (⇒ P25)	使用不可	使用可能
通電（充電）時のリモコン操作	操作可能	操作不可
警戒モードの設定 (⇒ P16,27)	常に誤動作キャンセル機能あり	誤動作キャンセル機能のあり / なし選択可能
連続警報回数	強い衝撃およびドア開： 合わせて 10 回まで 弱い衝撃：40 回まで	制限無し
通電（充電）時の LED 点灯表示 (⇒ P26)	・ 30 秒間点灯 ・ 中央 2 灯点灯	・ 30 秒間点灯または常時点灯から選択可能 ・ 充電状態によって全点灯または中央 2 灯点灯

📞 アドバイス

リモコンの ID コードを登録する場合、専用バッテリーを接続していないと ID 登録モードに入りません。

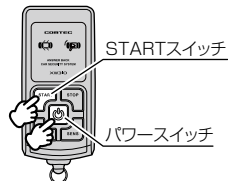
⚠️ 注意

- ・車両のバッテリー上がりを防ぐため、必ず 1 週間に 1 度はエンジンを始動して車両バッテリーを充電してください。
- ・輸入車モード使用する際は、設定変更を行った後、必ずメインユニットの専用バッテリーを取外して使用してください。

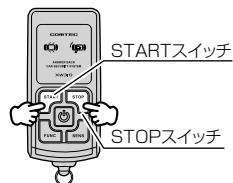
設定方法

- 1) 警戒モード解除中にリモコンの【START スイッチ】と【パワースイッチ】を同時に 5 秒間長押しします。

- ・リモコンから「ビピー」と音が鳴り、LED が点滅⇒点灯へと変わります。
- ・メインユニットサイレンから「ピロリロ♪」と音が鳴り、威嚇 LED が点灯します。

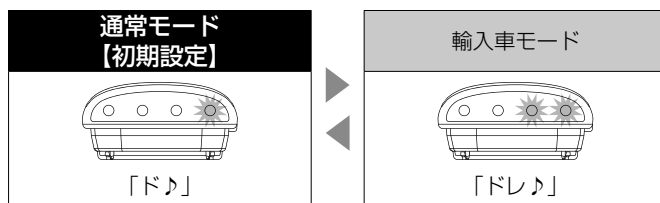
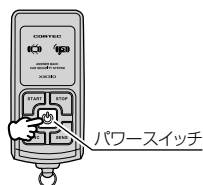


- 2) 【START スイッチ】または【STOP スイッチ】を押すと、リモコンのLED が点滅し、設定内容が変わります。



- 3) 変更後【パワースイッチ】を同時に5秒間長押しすることで設定を登録します

- ・メインユニットサイレンから「ピロリリー♪」と音が鳴り、威嚇LEDが消灯します。
- ・メインユニットサイレンから「ブップッ」と音がした場合は専用バッテリーの充電が無くなっています。充電後再度設定を行ってください。

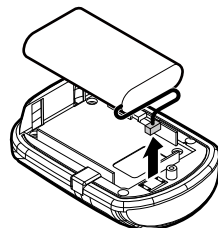


使用方法

- 1) 設定変更後、メインユニットから専用バッテリーを取外します。

⚠ 注意

必ずメインユニットから専用バッテリーを取外してください。車両バッテリー上がりや故障の原因となります。



- 2) メインユニットにシガープラグコードを接続し、使用します。

📞 アドバイス

- ・メインユニットから専用バッテリーを取外しているため、常時通電していないと動作しません。
- ・警戒モードの設定は常に誤動作キャンセル機能ありになるため、【START スイッチ】または【SENS スイッチ】どちらの操作でもメインユニットサイレンからは「ピッ」と音が鳴ります。

付録

こんなときは？

セキュリティオートスタート機能について (⇒ P25)

Q. エンジンスターターと併用したい。

- A. エンジンスターターと併用する場合、セキュリティオートスタート機能を ON にして使用してください。警戒モード設定中にエンジンがかかる（ACC が ON になる）ことで警戒モードが解除され、アイドリングが終了すると、セキュリティオートスタート機能により、再度警戒モードに設定されます。

Q. 一部エンジンスターターでエンジン始動しても ACC が ON にならない場合は？

- A. ACC が ON にならないとセキュリティは解除されないため、車に乗り込む前に必ずリモコンにてセキュリティを解除してください。

※ エンジン始動による振動で本製品が弱い衝撃を検知することがあります。

Q. ターボタイマー装着車に取付けると？

- A. セキュリティオートスタート機能を ON にしていると、ターボタイマー終了後に自動で警戒モードに設定されます。

※ ターボタイマー作動中は警戒モードに設定できませんのでご注意ください。

Q. セキュリティオートスタート機能を一時的（荷物の積み下ろしやガソリンの給油中等）に使用したくない場合は？

- A. キーを OFF 後、リモコンで警戒モード解除操作（【STOP スイッチ】を押す）を行うことで警戒モードに設定されません。

メインユニット充電中の LED 点灯表示について (⇒ P26)

Q. 夜間走行中等、メインユニット充電中の LED 表示が眩しい。

- A. 充電中の LED 表示を『常時点灯』に変更している場合、『30 秒間点灯』に設定を変更することで、充電開始から 30 秒間点灯し、その後消灯した状態で走行することができます。

故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
メインユニットの充電ができない	・メインユニット用専用バッテリーのコネクターが抜けかかっていますか？	・メインユニット用専用バッテリーのコネクターを確実に接続してください。	P9
	・シガープラグコードのヒューズ（1A）が切れていませんか？	・ヒューズを交換してください。	—
	・車両シガーソケットから 12V が出力されていますか？	・キーを ACC または ON にしてください。	P10,11
リモコンの操作ができない	・リモコンの電池が消耗していませんか？	・新しい電池と交換してください。	P7
	・リモコンの電源が OFF になっていませんか？	・リモコンの電源を ON にしてください。	P21
警戒モードに設定できない。	・リモコンを手等で包み込んで操作していませんか？	・リモコンを正しく持って操作してください。	P8
	・リモコンの操作範囲内にありますか？	・操作範囲は半径最大約 8m 以内です。	P8
	・リモコンで操作してもメインユニットが反応しませんか？	・ID コードの再登録を行なってください。	P30
	・メインユニット用専用バッテリーのコネクターが抜けかかっていますか？	・メインユニット用専用バッテリーのコネクターを確実に接続してください。	P9
	・メインユニットが充電中ではないですか？	・充電中は警戒モードに設定できません。キーを OFF にして設定してください。	P10
	・各機能の設定を変更中ではないですか？	・各機能の設定を変更中は警戒モードに設定できません。変更を終えてから警戒モードに設定してください。	—
	・メインユニット用専用バッテリーの電池容量が低下していませんか？	・メインユニット用専用バッテリーを充電してください。	P10,11
	・リモコンが設定モードに入っていないませんか？	・パワースイッチを 5 秒長押し、設定モードを終了してください。	—
	・ID 登録モード中ではありませんか？	・ID 登録モード終了後、警戒モードに設定してください。	P30
セキュリティオートスタート機能が作動しない	・セキュリティオートスタート機能の設定が OFF になっていませんか？	・警戒パターンの設定を変更してください。	P24,25
	・輸入車モードに設定されていませんか？	・輸入車モードに設定していると、セキュリティオートスタート機能は使用できません。	P32
サイレン音が鳴らない	・サイレン音の設定が OFF になっていませんか？	・警戒パターンの設定を変更してください。	P24,25
メインユニットからの警報通知をリモコンへ受信できない	・メインユニットとリモコンの間に遮蔽物がありますか？	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。	P8
	・周囲に電波を出すものがありますか？	・周囲の電波状況によっては電波が干渉してしまい、届かない場合があります。	—
	・通信エリア圏外ではありませんか？	・通信エリアの確認を行い、使用される場所が通信エリア内か確認してください。	P15
警戒モードの設定 / 解除操作を行うとメインユニットサイレンから『ブッ』／『ブッ』と音が鳴る	・メインユニットの専用バッテリー電圧が低下しています。	・メインユニット用専用バッテリーを充電してください。	P10,11 P20
リモコンのスイッチ操作時の音が『ブッ』に変わった	・リモコンの電池電圧が低下しています。	・リモコンの電池を交換してください。	P7,20

付録

お買い上げ時の設定一覧

設定項目	設定内容	参照ページ
衝撃センサー感度	感度：中	P23
空圧センサー感度	感度：中	P23
警戒パターン	パターン③ セキュリティオートスタート：OFF サイレン：ON	P24
セキュリティオートスタートの時間	30 秒	P25
威嚇 LED 点滅パターン	パターン① LED 全点滅	P26
メインユニット充電中の LED 点灯表示	充電開始から 30 秒間点灯	P26
通常モード / 輸入車モード	通常モード	P32,33

製品仕様

メインユニット

技術基準	特定小電力無線
送信周波数	426MHz 帯
送信出力	1mW
警報音圧	最大 105dB (正面 10cm)
動作温度範囲	- 20℃～+ 80℃
電源電圧	12V 車専用
消費電流	急速充電時：400mA 以下 標準充電時：80mA 以下 警戒時：平均 2.6mA 以下 (通常モード時) 平均 6mA 以下 (輸入車モード時) 警報時：最大 130mA (通常モード時) 最大 75mA 以下 (輸入車モード時)
ケース寸法	76.5 (W) × 63 (H) × 28 (D) mm (アンテナ部除く)
重量	94.5g (専用バッテリー含む)

リモコン

送信出力	微弱電波
送信周波数	318MHz 帯
動作温度範囲	- 10℃～+ 60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
電池寿命	約 5 ヶ月
ケース寸法	31 (W) × 65 (H) × 14.5 (D) mm
重量	27g (電池含む)

※ 本製品の外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。予めご了承ください。